

# 100-220

## 問題文

ピロリ菌は、菌に特徴的な代謝反応を利用して胃内で生存することができる。この反応は、菌による感染の診断法として用いられている。この代謝反応はどれか。1つ選べ。

1. L-グルタミンからL-グルタミン酸とアンモニアを生成する反応
2. ホスホエノールビルビン酸とADPからビルビン酸とATPを生成する反応
3. 尿素からアンモニアと二酸化炭素を生成する反応
4. L-アルギニンから尿素とL-オルニチンを生成する反応
5. アセチルCoAとオキザロ酢酸から補酵素A(CoA)とクエン酸を生成する反応

---

## 解答

問220：2, 5問221：3

## 解説

### 問220

選択肢 1 ですが

疑義照会すべき点はありません。1日10mgを、1回又は2回に分けて服用する薬です。夕食後となっているのはコレステロールの生合成が夜間に亢進されるため効果的であるとされているからです。ただし、半減期が長いスタチンではいつ飲んでも変わらないという結果があったり、他の薬も含めて、飲み忘れを避けるためなどから朝食後などになっていることも、よくあります。

選択肢 2 は、正しい選択肢です。

EPA製剤であるイコサペント酸エチルカプセルは、空腹時ではあまり吸収されないため食直後に服用する薬です。

選択肢 3,4 ですが

疑義照会すべき点は、ありません。

選択肢 5 は、正しい選択肢です。

クラリスロマイシンがCYP阻害作用を有するため、ピモシドの血中濃度上昇により副作用発現の危険性が高まる可能性があります。併用禁忌の組合せの一つです。

以上より、正解は2,5です。

### 問221

本問で指摘されている特徴的な代謝反応とは、ウレアーゼという酵素による反応です。ウレアーゼは尿素を、アンモニアと二酸化炭素に分解する酵素です。尿素は胃粘液にも含まれており、これをアンモニアに分解することで胃酸を中和させます。

以上より、問221の正解は3です。